

ブルーギル「根絶の可能性」

井の頭池かいぼり報告会

井の頭公園（武蔵野市、三鷹市）の井の頭池の水を抜いて環境を再生する「かいぼり」の結果報告会が27日、三鷹市で行われ、「外来種の魚・ブルーギルが池から根絶された可能性がある」との調査結果が発表された。

井の頭池では、都が外来種駆除と水質改善を目的に2013、15、17年度の計3回かいぼりを実施した。池の水生生物を毎月調査

している認定NPO法人

「生態工房」によると、3回目のかいぼり後の昨年4～11月の調査では、池の主要な外来生物とされていたブルーギルが一度も確認されなかった。同期間に池で見つかった外来種の種類と個体数も、14年度の調査開始以来、最少となっていた。また、3回目のかいぼりで捕獲された生物の91・4%が在来種で、初回の16・4%と比べ、在来種の割合

が大幅に増えていることも報告された。

生態工房の八木愛さんは、より豊かな自然環境を好む在来種のヌカエビが昨

年10月以降大きく増加したことなども説明し、「今後は在来種のすみか作りが大切になっていく」と話した。